



障がいに起因する困難さも目立ちますが優れた能力が発揮される場合もあり、このアンバランスな様子を周りの人に理解されにくい障がいです。養育環境ではなく脳機能の障がいによるもので、どんな能力に困難さがあるか、またどのくらいの程度なのかは人によって様々です。

障がいの分類

○注意欠陥多動性障がい (ADHD) …年齢あるいは発達に不釣り合いな注意力および衝動性、多動性を特徴とします。

○学習障がい (LD) …全般的な知的発達に遅れはないのに、「聞く」「話す」「読む」「書く」「計算する」「推論する」能力のうち特定のものの習得と使用に著しい困難があります。

○広汎性発達障がい (PDD) …対人関係や社会性の問題、こだわりや興味の偏りなどがあります。自閉症・アスペルガー症候群などが含まれます。



こんなサポートがうれしい！

けっか せ なが め しえん
結果を急かさず、長い目で支援してください。

じぶん かんが つか ながて はや せ
自分の考えをうまく伝えることが苦手です。「早く」「まだ？」などと急かさず、
できるだけ穏やかに根気よく接してください。また、注意などの際には「ダメ」「～
してはいけない」などのように否定形ではなく「～してください」というように
してほしい行動を具体的に伝えてください。

え しゃしん つか せつめい わ
絵や写真を使って説明されると分かりやすいです。

し 知らないこと「はじめですること」へんか たいおう ながて せつめい
「知らないこと」「初めてすること」「変化に対応すること」が苦手です。説明す
るときは、短い文で、一つずつ順を追って、具体的にすることを示されると、理
解しやすくなります。また、絵や写真を使って説明されると、より分かりやすい
です。

あんしん お っ しず かんきょう ととの
安心できる落ち着いた静かな環境を整えてください。

ちようかく かびん ひと ざつおん おお こえ かわ ながて お っ しず かん
聴覚過敏の人は、雑音や大きな声での会話が苦手なので、落ち着いた静かな環
境づくりをしてください。また、コミュニケーションをとる際には、「ゆっくり」
「短く」「具体的に」穏やかな口調でお願いします。

なに ねが し じ ば あい ぐ たいてき つた
何かをお願い、指示する場合は具体的に伝えてください。

しょう 障がいがあるために、し じ をうまく理解できない場合があります。困難なことを
「なぜ、できないのか」「急いでいるのではないかと責められるのはつらいこと
です。できるだけ具体的に「今はこういう状況なので、こうしてください」と伝
えてください。

たと
例えば、こんなことがあります。

はったつしょう ひと かお ひょうじょう あいて きも すい
発達障がいのある人は、顔の表情などから相手の気持ちを推
測して行動することが難しい場合があります。また、同時に
たくさんのことを指示されると、適切な優先順位を付けられ
ない場合があります。取り組む順番や、開始時間などをメモ
で渡すなどの配慮があると助かります。

